

令和2年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①極めて高いレベルの文武両道のもと、高い学力、幅広い教養を身につけ、国際社会のリーダーとしての資質を培う教育課程を編成し、全職員で組織的に取組み、実現させる。	①-1「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践に向けて組織的に授業改善に取り組む。 ①-2 知識技能を定着させるとともに、物事を多面的に深く理解し、思考を広げ深化させる授業を、教員と生徒で作り上げる。	①-1 高いレベルの学力向上を支えるために各教科で3年間を見通した授業計画を共有するとともに、担当学年を超えて、組織的に授業改善に取り組む。 ①-2 集団で活動し、新たな学びを構築する探究活動を推進する。	①-1 教員間の授業参観と、授業改善のための協議に2回以上出席したか。 ①-2 生徒が思考力・判断力・表現力等を発揮して、自らの学びを推進する意志を持ち、また課題を解決するために行動する場面を設定できたか。					
2 生徒指導・支援	①次世代リーダーとして、世界に通用する人間としての高い倫理観や、心豊かで他者を思いやることのできる人間性、自律的・主体的な態度を育成する。 ②個別の生徒の課題について、迅速にまた計画的に組織的に対応する。	①全教員で課題を共有して、一致した生徒指導・支援を行う。 ②個別の生徒の課題を把握、共有化して支援し、課題解決を図る。	①自身を取り巻くさまざまな事柄に関心を持つことの重要性や、授業規律や公共のマナー遵守について、授業、HR、集会等で継続して伝え、指導する。 ②生徒の課題の解決に向けて、ケース会議やスクールカウンセラーを活用して迅速に対応する。	①将来のリーダーとしてふさわしい自律的な態度やマナーを身につけさせることができたか。 ②報告・連絡・相談を円滑に行い、計画的に課題解決に向けて取り組むことができたか。					
3 進路指導・支援	①進路支援グループ、学年、部活動顧問等で連携して、3年間を見通しての計画的かつ最後まであきらめさせない進路指導を徹底する。 ②世界に目を向け、「最も困難な道に挑戦する」高い志を育成する取組みを	②「Always do what you are afraid to do!」という教育モットーを掲げ、生徒一人ひとりが高い目標を実現可能とする進路指導を計画的に行う。	②入学から受験期まで、難関大学をあきらめない指導を、全職員が連携して指導を徹底する。	②-1 集会、各HR、進路通信等で湘南の進路指導を理解させ、進路意識を高めることができたか。 ②-2 生徒の希望や実力テスト結果を共有して、指導できたか。					

		推進する。							
4	地域等との協働	○地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりをめざす。	生徒の地域貢献活動を推進する。	各部・委員会等のボランティア活動を支援する。	ボランティア等の参加件数と人数が増加したか。				
5	学校管理 学校運営	①教育公務員としての高い倫理観と同僚性を保持し、学校目標達成に向けて堅固に協力するとともに、事故・不祥事を起こさない職場環境の形成に向けて、職員一人ひとりが意識して行動する。 ②働き方改革を推進するために教員の意識改革を図る。	①職員一人ひとりが、事故・不祥事防止に向けて、当事者意識をもって取り組む。 ②学校閉庁日を設定するとともに、業務の効率化を図る。	①報告・連絡・相談を円滑に行い、事故防止に努め、協力して学校目標の達成に向けて、各業務に取り組む。 ②学校閉庁日を年間3日設定し、休暇の取得を促進する。	①-1 財務事務調査結果が昨年度より改善したか。 ①-2 事故・不祥事件数0を達成したか。 ②夏季休暇・年休等の休暇取得日数が昨年度より増加したか。				